

# 柏尾の風



横浜市立柏尾小学校

学校便り

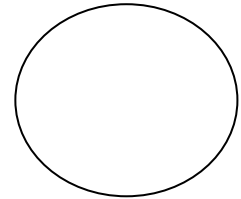
5月号

令和5年4月28日

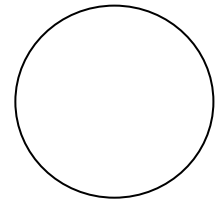
## 地球は丸い！

校長 古沢昇一

「地球はどんな形をしていますか？」こんな質問をするといろいろな答えが返ってきます。小さな子どもに聞くと[地球は丸い！]と答えます。中学校で地球の大きさの勉強をすると、赤道半径（北極・南極を上下にすると横の半径）が約6378 Km、極半径（縦の半径）が約6357 Kmで横が縦に比べて約21 Km長いので、楕円形の球（ラグビーボールみたい形右上の図）と答えが返ってきます。しかし、宇宙から地球を撮影した写真を見ると、実はほぼ完璧な球といえます。半径が21 Kmも違うのに、なぜ完璧な球になるのでしょうか。これは地球がとても大きいからです。コンパスで半径1.6 cmの地球を形取った円を描いてみるとことにします。ここまで小さくすると21 Kmの差は約0.05 mmとなり、コンパスの線よりも少し小さくなります。



21 Kmの差は円の線の中に入ってしまうこととなります。地球上で一番高い山：エベレストでも8,884 m(8.8 Km)ですから、表面の凸凹は無いに等しいことになり、ほぼ完璧な球といえます。



(右の円は横を少し長く描いてあります。)

小学校は1年生から6年生までの、発達段階が異なる児童が生活しています。日々様々なことが起こり、時にはトラブルになることがあります。中には失敗や問題を起こしてしまう児童もいます。その場面だけを見ると、よくないことが目立ち、悪くとらえてしまいがちですが、宇宙から地球を見るように、違った視点から見ると、今まで気がつかなかった素晴らしい面がたくさんできます。勉強や行事・委員会等に積極的に取り組み、いつも明るく元気に見える児童も、心の中に悩みを抱えているかもしれません。一人ひとりの児童を一面で判断しないで、時には近くから、時には遠くから全体を見て、いいところや課題を発見して理解して、見守っていきたいと考えています。

地球には世界遺産のような素晴らしい自然や建築物もあれば、砂漠や険しい山、深い谷、ごみで汚れた場所など様々な場所があります。時には猛暑・豪雨・大雪・台風・地震等様々な現象が起こっていますが、宇宙から見た地球は本当に美しい姿をしています。美しい地球を残し、未来を担う柏尾小学校の児童とともに歩んでいきたいと考えています。